

(財)ながの観光コンベンションビューロー 平成23年度 事業計画書

はじめに

財団法人ながの観光コンベンションビューローは、長野市へのコンベンションの誘致と観光客の誘客により、街の賑わいの創出と人々の交流による、さらなる経済的波及効果の創出と文化の創造を目指し、コンベンション誘致・支援を行うコンベンション事業と、観光客誘客のための観光振興事業を主たる業務として事業を推進しております。

また、当ビューローは、「第四次長野市総合計画」、「長野市観光振興計画」に基づき、長野市へより多くの皆様をお迎えすることにより、賑わいのある街づくりを推進するべく各事業を展開しております。

近年、長野市におけるコンベンションの開催及び観光客の入り込み状況は、平成20年9月のリーマンショックに端を発した世界的な経済低迷の影響を受け、急激な下降状態となり、特に平成20年度のコンベンションの総参加者数は平成16年から18年の11万人を大きく割り込む6万人台へと下落しました。その後、平成21年度からは、上昇傾向にあり、最高時の11万人には達しないものの、約10万人の方が長野市でのコンベンションにご参加いただいております。

今後のコンベンション誘致施策につきましては、大規模コンベンションが市場ですべて露出し、開催順番待ちの状況にある中で、当ビューローといたしましては今後拡大の可能性のあるもの、あるいは継続的に長野市内で開催される可能性のある中小のコンベンションを数多く誘致することにより、長野市の交流人口の増加を目指してまいります。

観光誘客においては、従前の観光情報の提供、観光宣伝・広告等のみでなく、細分化した個人の嗜好に合わせ、長野市を発地とした北信濃エリア対象の旅行商品の造成と販売により、長野市を訪れる観光客の増加を目指してまいります。

さて、当ビューローは、設立当初から公益を目的とした財団法人として運営してまいりました。従前の財団法人は平成20年12月の法律改正により、平成25年11月30日までに公益財団法人または一般財団法人への移行が必要となっております。当ビューローは設立の主旨に則り、平成24年度において公益財団法人への移行認定申請を行う準備を進めてまいります。

1 コンベンション事業

長野市は、平成6年「国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律」(通称：コンベンション法)に基づき、全国45都市と同時に第1期の「国際会議観光都市」の認定を受け、同認定を受けた45都市がコンベンションビューローを設立し、コンベンション施設整備を行う一方、国内外のコンベンションの誘致を開始する中で、本市も各都市に遅れることなく関東圏を中心に誘致活動を推進してまいりました。

長野市のコンベンションにおける総参加者数は、平成19年度から減少し始め、平成20年

度においては6万人台まで低下し、平成16年から18年の3年間の年間11万人台に比べおよそ半分の人数となりました。これは、大規模コンベンションが全国的にすべて露出し、その開催が順番待ちになっていることに加え、平成19年のアメリカのサブプライムローン問題をきっかけとした世界金融危機の影響による日本国内の経済低迷に端を発し、平成20年9月のリーマンショックにより、各種の中小コンベンションへの民間からの資金援助が激減し、移動費等が発生する地方でのコンベンション開催が減少したことに大きな要因があります。

このような厳しい状況ではありますが、平成22年度においては、中小規模のコンベンションの開催が増えてきていることに加え、大型コンベンションの開催もあり、約10万人の総参加者数となりました。

今後、当ビューローといたしましては、中小規模のコンベンションで将来拡大していく可能性のある大会・学会・スポーツ大会等や、長野市内で継続的に開催される可能性のあるコンベンションを積極的かつ戦略的に誘致・支援してまいります。

また、国が推進するMICE誘致については、特に企業内会議・研修会等の企業コンベンション誘致を積極的に進めるため、関係事業者の皆様と受け入れ態勢の整備を図ってまいります。

さらに、スポーツ大会の誘致と支援を積極的に実施し、継続的に長野市内で競技会の開催を促すとともに、学生の合宿・セミナー等を誘致・支援し、将来的なりピーターの増勢を図ってまいります。

加えて平成26年度北陸新幹線（現長野新幹線）金沢延伸を好機と捉え、北陸及び近畿圏からのコンベンションの誘致を重点的に実施してまいります。

2 観光振興事業

財団法人ながの観光コンベンションビューローは、松代・飯綱・戸隠・鬼無里と善光寺、そして合併した信州新町・中条地区と、周辺14市町村の広域観光エリアの皆様等との協働による観光資源の再発見と醸成を行い、旅行者・エージェントへのセールスを行うなど旅行商品の商品化のためのプランナーとしての役割を果たすとともに、北信あるいは東北中信エリアとの広域連携による観光誘客の先導的役割を担っていくべきものと考えております。

当ビューローは平成21年10月に第3種旅行者の資格を取得し、長野駅等を起点とするいわゆる着地型旅行商品の企画と販売・集客を進めております。

この事業は、参加人員が想定できない等、リスクが大きく民間事業者では商品化できなかった市内のバスツアー等を、第3種旅行者としての当ビューローがパイロット事業として企画・実施することにより商品価値を創出し、民間事業者の旅行商品として展開していくことを目的としております。また同時に、地元住民と協働で企画・実施することにより、地域活性化に資することも目的としております。

次に、インバウンド事業につきましては、台湾・中国をメインターゲットと定め、民間事業者と共同での台北国際旅行博（ITF）への積極的参加、及び「台北駐日経済文化代表處」「日台交流文化協会」との連携により、より多くの一般観光客及び教育旅行の誘致に向け努力してまいります。なお、世界に目を向けた戦略としては、日本政府観光局（JNTO）及び長野県観光部と連携しマスコミを中心に招聘し、広く長野市及び北信濃の観光情報を発信してまいります。

平成 23 年度におきましては、長野市観光振興計画に基づく観光誘客キャンペーン「篠ノ井イヤー」「信州新町イヤー」が実施されます。当ビューローといたしましても、キャンペーン情報の発信や、旅行商品の造成・販売など、全面的に支援をしております。

また、長野県が 9 月から 12 月にかけて実施予定の「2011 信州キャンペーン」(アフターデスティネーションキャンペーン)事業につきましても関係者との連携を図り、長野市を起点とした北信濃エリアへの観光誘客を推進しております。

次に、長野市全体のキャンペーンといたしましては、4 月から 6 月に花をテーマとして観光誘客を図る「長野市花キャンペーン」を実施いたします。また、昨年、大ブレイクしたパワースポットや、えびす講煙火大会、長野灯明まつりなどのイベントを核とした宿泊キャンペーンを実施し、さらなる誘客を図っております。

なお、誘客に向けた情報発信につきましては、新たにスマートフォンなどの次世代携帯端末等を活用し、さらにはインターネットのコミュニティサイトとの連動を視野に入れるなど、幅広い年代層に対応した情報発信を効率的に行っております。

また、平成 26 年度北陸新幹線(現長野新幹線)金沢延伸を機に、北陸及び近畿圏からの誘客を進めるため、北陸・近畿エリアでの商談会等を積極的に開催しております。

1 コンベンション事業

重点目標

- 1 大規模コンベンション及び中小規模コンベンションに対して積極的な誘致支援
- 2 国際大会及び全国大会などのスポーツ大会の誘致支援
- 3 企業コンベンション誘致促進
- 4 日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)等との連携による海外からの MICE 誘致促進

*MICE (マイス) = 企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、イベント、展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

重点事業

- 1 全国持ち回りの大規模コンベンションは概ね長野市で開催され、次回開催は順番待ち状態となっている状況の中で、従来どおり大型のコンベンションの誘致を継続的に実施しながら、中小規模のコンベンションを積極的に誘致し、年間誘致・支援コンベンション総参加者数の目標をピーク時の 11 万人として、さらなる拡大を図る。

- (1) 大規模コンベンションを誘致するため、他都市のコンベンション推進機関等との連携を強化し、大会の誘致を図る

- (2) 中小規模のコンベンションが開催されやすい支援内容の検討・見直しを行う
 - (3) 産学行三位一体となった地域密着型の誘致を推進する
 - (4) 平成 26 年度北陸新幹線（現長野新幹線）金沢延伸を契機とする北陸・近畿圏のコンベンション・企業コンベンション誘致に向けた需要調査の継続及び誘致強化を行う
- 2 「長野市スポーツ振興計画」の推進をサポートし、教育委員会、競技団体と連携し、国際的大会や全国的競技会等を誘致し支援する。
- (1) スポーツ大会開催支援金制度を活用しながら、教育委員会、競技団体等と連携し、国際的大会や全国的競技会等を誘致し支援する
 - (2) コンベンションバス等の支援内容の充実により、スポーツ大会誘致拡大を図る
 - (3) 学生の合宿支援金制度を活用し、将来、リピーターとなりうる学生マーケットの誘致を積極的に行う
- 3 企業コンベンション（企業内会議、企業研修、報償旅行等）は企業の通常業態に対して、より良い会議・研修環境を求めるものであることから、他都市との差別化を図った受け入れ体制の構築を図るとともに、積極的な誘致を行う。
- (1) 企業コンベンション受け入れ施設の利用状況調査と主催者及び旅行事業者に対し個別のニーズ調査を行い、企業コンベンション市場動向の把握と、ニーズに合わせた長野市独自のサポートメニューの開発を行う
 - (2) 企業コンベンション取扱旅行事業者等に対し実効性のある送客推進策を策定し、積極的な誘致を行う
- 4 大規模国際コンベンションは首都圏、京都、大阪エリアに集中し、地方での開催はほとんど困難であるが、同一会場で連続して開催される学会や、参加者が少人数の国際会議では、地方開催の要望も一部に出てきている。そのため、長野市で開催可能な国際会議等の市場調査、誘致を推進するとともに、首都圏において開催される大規模国際コンベンションからのエクスカージョン候補地となりうる観光情報等を発信する。
- (1) JNTO、JCCB との連携により、タイムリーな情報収集を行い、国際会議及びインセンティブ誘致を推進する
 - (2) インバウンド（海外から日本への旅行者）取扱旅行会社との連携により、国際会議主催者の長野に対するニーズの情報収集と北信濃を含めた広域エクスカージョンの企画開発を行う
 - (3) JNTO が実施する国際会議とインセンティブの海外キーパーソンを招請する事業に積極的に参加する
 - (4) 総合コンベンションイベントである「第 21 回国際ミーティングエキスポ」へ出展し、国内及び海外の主催者に対して長野市の PR を行う

主な改正点

中小規模コンベンションを対象とした支援内容のさらなる充実を図り、誘致の拡大を行う
支援内容の充実によるスポーツ大会誘致推進を行う
企業コンベンション誘致拡大に向けての送客推進策の策定
MICE 誘致拡大に向けて関連施設との定期的な情報交換会の開催
国際ミーティングエキスポへの出展

事業の概要

コンベンション事業費 (一般会計)	予算額	前年度予算額	比較増減
	47,000 千円	47,000 千円	0 千円

1 コンベンション誘致活動

6,997 千円

(1) コンベンション誘致活動

大規模コンベンションを対象とした長期的計画に基づく誘致活動の実施 [1-(1)]
継続的・長期滞在型の中小規模の国内学会、国際会議等の積極的誘致 [1-(2),(4)]
長野開催のための決定理由の個別調査を実施するとともに、誘致活動を東京事務所と連動して展開し、誘致・支援コンベンション年間参加者数 11 万人の維持拡大を図る[1]
大規模コンベンション及び継続的開催の可能性のあるコンベンションに対し戦略的誘致を展開 [1]
コンベンション、スポーツ大会誘致データの見直し [1,2]
新規ターゲット創出のため、信州大学、長野工業高等専門学校等学会関係者及び関連団体との情報交換と支援を実施 [1-(3), 3-(1)]
・主催者ニーズの把握と開催しやすい環境の構築
・教授等からの紹介による学会・会議等の誘致
・人脈の構築とキーマンの発掘
・学会関係者支援セミナーの開催
「ふるさと NAGANO 応援団」委員の紹介による専門分野別のコンベンション誘致活動
平成 26 年度北陸新幹線（現長野新幹線）金沢延伸に合わせた北陸・近畿圏におけるコンベンション・企業コンベンション需要調査の継続及び誘致 [1-(4)]

(2) スポーツ大会誘致活動

「長野市スポーツ振興計画」推進をサポートし、スポーツ大会開催支援金制度等により教育委員会・競技団体と連携した、国際的大会・全国的競技会等の誘致推進[2-(1)]
・長野マラソン・長野車いすマラソンへの支援、国際スケート大会の開催支援

・競技志向の高いシニア世代を対象としたマスターズスポーツ大会、レクリエーションスポーツ全国・地方大会、インターハイ等の誘致・支援

平成 28 年度まで継続して開催される全国中学校スケート大会参加校を重点対象とした合宿誘致とスケート連盟・教育委員会等と連動した新規合宿・大会等の誘致[2-(2)]
合宿支援金制度等により、将来、リピーターとなりうる学生マーケットを誘致[2-(3)]

(3) 企業コンベンション誘致活動

企業コンベンション受け入れ可能施設との情報の共有化により、他都市との差別化を図った長野らしい提供素材の研究開発・企画・商品化 [3-(1)]

企業コンベンション誘致拡大に向けての送客推進制度の導入 [3-(2)]

体験型要素を導入した新規エクスカーション企画提案 [3-(1)]

(4) 海外からの MICE 誘致活動

インバウンド・海外企業インセンティブ取扱旅行会社と連携した、情報収集・受け入れ体制の構築 [4-(2)]

受け入れ機関との情報共有化による、海外からの参加者に対する魅力ある長野市らしいエクスカーションの提供と、北信濃を含めた広域エクスカーションの企画開発 [4-(2)]

観光庁が展開する MICE 政策の動向を注視しつつ、長野市で開催可能な国際会議等の市場調査・情報発信の展開 [4-(1)]

2 コンベンション・インセンティブ

398 千円

コンベンション誘致のためのコンベンション主催者・キーパーソンの視察招聘 [1]

・戦略的誘致の一環としての主催者・キーマンの視察招聘

国際会議・海外インセンティブのキーパーソンの招請 [4-(3)]

・観光庁、JNTO 等との連携事業

3 展示会出展 P R

600 千円

MICE 事業の推進を目的とした総合コンベンションイベントである「第 21 回国際マーケティングエキスポ」へ出展し、国内及び海外の主催者に対して長野市の P R [4-(4)]

4 誘致広報宣伝

1,031 千円

MICE 業界誌、県人会誌、大会主催団体等の広報誌への広告掲載 [1,2,3]

新聞等による市民参加型のコンベンション告知・イベント情報の紹介 [1-(1),(2),(3)]

5 コンベンション支援

16,148 千円

長野市内開催の宿泊を伴う会期 2 日以上かつ大会参加者 60 人以上のコンベンション
に対し支援 [1,2]

- ・ 歓迎看板等の設置。(長野駅善光寺口、長野駅東口、会場及び会議室)
参加者 600 人未満は2箇所以内、参加者 600 人以上は3箇所以内の設置
- ・ コンベンション支援パンフレット・トートバッグ等の提供
「おいでなしてながの」、グルメガイド
- ・ 歓迎塔の設置(参加者 8,000 人以上)

エクスカーションバス運行支援(観光バス 2 台まで無料運行) [1,2,3]

参加者 100 人以上、会期2日間以上、ビューロー指定の観光コース利用

大規模大会(参加者 1,000 人以上)の特別支援 [1,2]

- ・ タクシードアへの歓迎ステッカー掲出
- ・ 商店街・観光地等への歓迎ポスター掲出
- ・ シャトルバス運行支援(運行経費上限 50 万円以内)

中規模スポーツ大会(参加者 300 人以上)の特別支援 [2-(1),(2)]

- ・ シャトルバス運行支援(運行経費上限 30 万円以内)

コンベンション誘致のための戦略的支援の実施 [1,3,4]

将来性・継続的開催可能性のあるコンベンションに対し、上記支援条件を緩和

6 賛助会員交流事業

2,502 千円

賛助会員向けセミナー・情報交換会の開催等による、賛助会員の他業種間情報交換と連携
の推進 [3-(1)]

観光事業者育成塾開催によるコンベンション等の受け入れ態勢構築と受け入れに係る事
業者等のメリット創出 [1,3,4]

- ・ ホスピタリティーの向上
- ・ コンベンション等における新しいメリット創造のための研究
- ・ エクスカーション等における観光事業者のメリット創造

賛助会員の加入促進

- ・ 賛助会員のメリット創出

関係各種業界へのコンベンション開催助成金・スポーツ開催支援金等の情報提供

7 コンベンションデータベース推進及びインターネットの活用

2,549 千円

コンベンション誘致情報のデータベース管理による情報共有化と誘致活動推進 [1]

長野市のコンベンション・観光情報等を「ながの観光コンベンションビューロー」の
ホームページから発信

ビューローホームページでの英語版コンベンション誘致ページ整備と情報発信 [4]

8 コンベンション情報収集

589 千円

コンベンション開催予定状況調査によるコンベンションカレンダーの発行 [1,2,4]
コンベンション主催者・参加者へのアンケート調査による、誘致活動・受け入れ態勢
の再検討 [1-(2),(3)]
コンベンション・アンケートに基づく経済波及効果等の試算・公表

9 機関紙発行

1,024 千円

機関紙「インフォームなごの」の発行 [1,2,3,4]
・賛助会員、関係行政機関、大会主催者等に、事業活動内容及びコンベンション・観
光に関する情報を提供（年3回発行）

10 関連組織との協調

1,662 千円

観光庁、JNTO・JCCB、公益法人協会が主催する各種会議、シンポジウム、セミナ
ー等に参加し、情報収集・情報交換・職員研修等を実施 [4-(1),(3)]
中部コンベンション連絡協議会への参画による中部圏ビューローとの協調
[1-(1),4-(1)]
国際会議観光都市連絡協議会との情報交換による、国際会議・海外企業インセンティ
ブ等の誘致の促進 [4-(1),(3)]
JNTO 国際コンベンション誘致事業の内、訪日インセンティブ旅行誘致事業に参加し、
特に成長著しい中国及び東南アジアからの訪日インセンティブ旅行誘致の強化
[4-(1),(3)]

11 コンベンション及びスポーツ大会の開催助成金交付

13,500 千円

コンベンション開催助成金の交付 [1]
・長野市内開催の宿泊を伴うコンベンションの主催者に対し、参加者数に応じ会場費
の半額を上限として開催助成金を交付
国際会議開催助成金の交付 [4]
・長野市内開催の宿泊を伴う国際会議主催者に対し参加者数に応じた助成金と主会場
使用料の半額相当額を助成金として交付
スポーツ大会開催支援金の交付 [2]
・スポーツ大会主催者に対し参加者数に応じ支援金を交付
合宿開催支援金の交付 [2]
・長野市内開催の宿泊を伴う学生の合宿の主催者に対し宿泊者数に応じ支援金を交付
企業コンベンション開催助成金の交付 [3-(1)]
・企業が実施する長野市内での宿泊を伴う会議や研修に対し、参加者数に応じ会場費
の半額を上限として開催助成金を交付

企業コンベンション送客促進支援金の交付

[3-(2)]

- ・長野市内開催の宿泊を伴う企業コンベンションを企画・実施した旅行事業者に対し、参加者数に応じ送客促進支援金を交付

2 観光振興事業

重点目標

- 1 広域観光の推進
- 2 着地型旅行商品の企画を通して滞在型観光の定着を目指す
- 3 誘客効果の高い観光宣伝の展開
- 4 篠ノ井及び信州新町の各イヤーキャンペーン事業に地元と連携して取り組む
- 5 誘客推進事業の展開
- 6 長野市観光情報センターの機能強化

重点事業

- 1 北信濃観光連盟を軸に、合わせて長野県と協調・連携しながら、広域観光を推進する
 - (1) 北信濃観光連盟の会員及びエリア内の観光事業者と協働して観光素材を集約し、旅行商品として旅行事業者等へ提案し誘客を図る
 - (2) 北信濃エリア内の自然、歴史・文化、味覚を中心とした新たな観光素材の掘り起こしを行う
 - (3) 北信濃エリアでの「観光圏整備事業」の実現に向け長野市と連携して取り組む
- 2 着地型商品の企画を通して滞在型観光の定着を目指す
 - (1) 商品コンセプトである 長野市の強み「豊かな自然」「歴史・文化財産」「豊富な食材」を生かす 地元住民、観光事業者、各種団体、行政を巻き込んだ商品企画 地元の思いのこもった、そして地元しか知らないような情報を織り込んだ内容をベースに着地型商品の造成を行う
 - (2) ブランド名「旬旅ながの」の商品イメージの定着を図る
 - (3) バスツアー、宿泊プラン、体験プランを中心に着地型商品を造成し販売する
- 3 ターゲット（年代・客層）を明確にした四季折々の長野市の情報発信を行い、訴求効果の高い観光宣伝を展開する
 - (1) 散策、体験、食、学び、癒しをキーワードに情報発信を行う
 - (2) スマートフォン等を活用し、長野市内における観光情報の発信力を強化する
 - (3) 観光プロモーションビデオ（日本語版、英語版）の制作

4 篠ノ井及び信州新町の各イヤーキャンペーン事業に地元と連携して取り組む

「篠ノ井」、「信州新町」の散策、味覚等の観光情報を全国に発信する

5 誘客推進事業の展開

(1) 長野市花キャンペーンの実施

春(4月から6月)の長野市への誘客を促進するため、花を前面に出したキャンペーンを長野市全域で実施する

(2) 長野市宿泊キャンペーンの実施

長野市花キャンペーン(1)と連動した展開

宿泊客が落ち込む1月から3月に雪と味覚をテーマに実施

観光事業者及び旅行会社等と連携したキャンペーンを行う

(3) 訪日外国人旅行者(インバウンド)の誘客に向けて台湾・中国を最重要国と位置付けるとともに観光事業者と連携して誘客に取り組む

観光事業者と連携し、仮称「インバウンド誘致協議会」を設立する

誘客に当たっては、台湾、中国へのアプローチを最重点に置く

教育旅行誘客に向けて、台湾、中国、シンガポールを対象国として、長野市教育委員会並びに長野県と連携して誘客に取り組む

雪遊び、スキー・スノーボード等の誘客に向けて、台湾、中国、韓国、香港を対象に長野市開発公社と連携して誘客を目指す

繁体字、簡体字のパンフレットの充実を図る

中国語、ハングルのホームページを開設し、観光情報の発信を行う

(4) 教育旅行(修学旅行)の誘客に向けて体験メニューの整備を行う

地元の各種団体及び観光事業者と連携して、そば打ち体験、農業体験、宿坊宿泊体験、松代での文化交流体験等のメニューをプログラム化する

民泊体験は、グリーンツーリズム推進体制の構築に向けて長野市と連携して取り組む

(5) イベント開催による誘客促進

(6) 「とっておきの旅づくり支援事業」の積極的な活用

旅行会社からの企画提案を促すためのPR活動を行う

長野市内の観光事業者等各種団体からの誘客に向けたイベントについて支援の対象とする

6 観光情報センターの機能強化

(1) 各種研修を通して接客サービスの充実を図る

(2) 「センター職員おすすめ」の散策プランを企画提案し、滞留時間の延長を図る

主な改正点

観光圏整備事業の実現に向け、長野市と連携して取り組む
スマートフォン等を活用した観光情報の発信
「篠ノ井」「信州新町」におけるイヤー事業に地元と連携して取り組む
花キャンペーン、宿泊キャンペーンの実施
誘客イベントに対する負担金を有効に活用し、誘客効果を高める
とっておきの旅づくり支援事業の充実

事業の概要

観光振興事業費 (一般会計)	予算額	前年度予算額	比較増減
	83,286 千円	92,547 千円	9,261 千円

1 観光宣伝

40,570 千円

「信州しののい 人・モノ・交流文化のまち」をテーマとする「篠ノ井イヤー」と、「こころ・つなぎ あしたへつなく 信州新町」を主なテーマとする「信州新町イヤー」、両地区の散策、味覚等の素材を活用し、誘客宣伝を実施する [4]
春に咲く花々を全国に発信し、春の長野市の魅力を広くPRする目的で長野市花キャンペーンを実施する

[5 (1)]

観光ポスターを作成し、首都圏電車内や全国主要駅並びに県内主要駅での掲出、県外観光案内所等での宣伝活動を行う

パンフレットの作成に当たっては、多様化するニーズに対応するため、可能な限り目的、用途別に作成する [3 - (1)]

テレビ・ラジオ番組、旅行雑誌、新聞、インターネット等多様な広告媒体の活用にあたっては、情報の受け手となるターゲットを明確にして発信するとともに、訴求効果の高い誘客宣伝を展開する [3 - (1)]

スマートフォン等を活用し、観光情報の発信力を強化する [3 (2)]

観光プロモーションビデオ（日本語版、英語版）の制作 [3 (3)]

観光情報センターに液晶ディスプレイやプロジェクタ等の表示装置を用いて情報を表示するシステム（デジタルサイネージ）を活用し、長野市及び北信濃エリア等の観光情報を発信する [1 - (2)]

メディア関係者（新聞・雑誌記者、旅行作家等）を招請し協力を得て、観光資源を活用した「ながの」の知名度の向上と誘客を図る

2 観光客滞在時間延長

9,333 千円

長野市内のグルメ情報や市内及び周辺観光地を紹介したガイドブック、ガイドマップを制作するとともに市内宿泊施設等に配布する

飯綱・戸隠・鬼無里・中条・信州新町エリアにおいて山里散策マップを制作する

[3 (1),4]

おすすめの散策コースの紹介をする

3 外国人観光客誘致

6,670 千円

外国語（英語・簡体字等）版観光パンフレットを作成し、観光客や外国人に提供する

[5 (3)]

海外メディア関係者やエージェント等の取材受け入れを行い、「国際会議観光都市ながの」の知名度の向上と誘客を図る

台湾、中国、シンガポールからの一般観光客及び教育旅行誘客に向けて観光事業者と連携して現地教育機関及び旅行会社へ訪問営業を行う

[5 (3)]

台湾・韓国・オーストラリア等をターゲットに、外国人が実際に利用しているツアーに善光寺、松代、戸隠等の歴史・伝統文化を組み込んだ商品の企画提案を行う

台湾観光旅行戦略事業の一環として、台北国際旅行博（通称 ITF）に出展し、台湾からの誘客を図る

中国での観光展への出展に向け検討する

中国語、ハングルのホームページを作成し、外国人向けの観光情報を発信する

[5 (3)]

観光事業者と連携し、仮称「インパウンド誘致協議会」を設立し、長野市への誘客を図る

[5 (3)]

4 フィルムコミッション

2,983 千円

映画、ドラマ、CMなどの撮影・制作支援や誘致を行い、映像を通じて観光客誘致や地域文化の向上につなげる

昭和の風景等、新しい撮影地を発掘し制作会社等へ提案する

NAGANO 映画祭は、県外からの誘客が見込める内容に見直す

5 共同宣伝

3,936 千円

県内外のイベント等への出展やイベント時の観光案内ブース、特産品紹介販売ブースを設置し、宣伝活動を実施する

県、市、周辺市町村等の関係機関・団体と連携して、観光キャンペーン等を実施し、あらゆる機会を通じて観光宣伝に努める

北信濃観光連盟を軸に旅行商談会等において旅行商品を企画提案し広域観光を推進する

[1 (1)]

6 観光案内所管理運営

1,430 千円

JR 長野駅の「長野市観光情報センター」及び「松代観光案内所」の観光案内施設において、市内観光案内のほか、北信濃観光連盟及び北アルプス観光協会管内そして松本市の質の高い観光情報を提供する

職員の接客サービスのさらなる向上を図る

[6 (1)]

有料パンフレットラックの有効活用を図り、来訪者への情報提供に努める
 長野駅の改装に伴い、長野市観光情報センターの機能的配置等、ハード面の検討を行
 い、長野駅整備基本計画への提案を行う
 職員おすすめの散策コースを紹介し、滞留時間の延長を図る [6 (2)]

7 関連団体支援

7,178 千円

信州凧揚げ大会、長野びんずる、飯綱火まつり、長野えびす講煙火大会、長野七夕ま
 つり、長野灯明まつり、古戦場まつり等、各種観光行事やイベント・まつりの支援を
 行う [5 - (5)]

北信濃観光連盟、県観光協会等広域観光団体と連携し、観光振興を図る [1]

「いいとき観光推進協議会」及びグリーンツーリズム推進体制の構築に向けて長野市
 との連携強化 [5]

観光ボランティア団体、各種体験受け入れ団体との情報交換を行う [5]

8 誘客推進事業

6,200 千円

旅行会社等から企画提案のあった旅行商品を対象に宣伝広告費支援金並びに送客促
 進支援金を交付する [5 (6)]

旅行事業者等の特性に合致した旅行商品を企画提案し、効果的な誘客を図る

善光寺のお朝事を盛り込み長野市内の宿泊をベースとした企画提案を行い誘客を図
 る

教育旅行の誘客に向けて体験メニューの整備を行う [5 (4)]

松代藩文化施設等における旅行会社とのクーポン券精算業務

観光関係団体、交通事業者、観光事業者等と連携し誘客を推進する [1 (1)]

9 旅行業運営事業

4,986 千円

着地型旅行商品は、二次交通の確保ができないエリアの旬な観光地を巡るバスツアー
 及び各種体験プログラムを組み込んだ宿泊プランを中心に造成し販売する [2]

長野市観光情報センターにおいて観光客の利便性を図る目的で当日の宿泊手配を行
 う

3 東京事務所

コンベンション誘致事業

首都圏におけるコンベンションの長野市への誘致営業の強化と推進

重点目標

- 1 コンベンション総参加者数をピーク時の年間 11 万人を継続目標とし、さらなる拡大を図る
 ため、積極的な誘致営業の展開

- 2 企業コンベンションの誘致営業の強化
- 3 スポーツ大会の誘致

重点事業

- 1 大規模コンベンションの長期的な継続誘致営業の推進と、中小規模のコンベンションを中心に積極的な誘致営業を推進する（継続目標 年間コンベンション総参加者数 11 万人）
 - (1) 既存登録事業者のターゲットを見直し、重点ターゲットの大規模コンベンションの長期的、継続的な定期訪問を実施し、情報の精度を高め、具体的な企画提案を行う
 - (2) 地区ブロック大会などの誘致営業を積極的に行い、将来の全国大会などの大規模コンベンション誘致につなげる
 - (3) JNTO との連携により、第 21 回国際ミーティングエキスポに出展し、「国際会議観光都市ながの」をアピールし、国際コンベンションの誘致を行う
 - (4) 新規事業者獲得へ向け、新規誘致営業の強化を推進する
平成 23 年度 既存学会・事業者訪問年間 200 事業者
- 2 企業コンベンション拡大に向けて、コンベンション部と連携して積極的に誘致営業を推進する
 - (1) 旅行会社との情報収集・情報交換を通して、他都市と差別化した独自のサポートメニューの開発・企画提案を行い、同時に送客推進制度の積極的な活用を行う
 - (2) インバウンド（海外から日本への旅行者）取扱旅行会社との連携により、国際会議主催者の長野に対するニーズの情報収集を行い、誘致を推進する
 - (3) 長野市東京事務所との連携を強化し、長野市への観光誘客営業を推進する
 - (4) 「ふるさと NAGANO 応援団」のメンバーを窓口として個別にコンベンション及び企業コンベンション獲得に向け誘致営業を行う
- 3 スポーツ大会（含むスポーツ合宿）の誘致営業を推進する
 - (1) スポーツ大会及び合宿の開催支援金制度を活用し、競技関連団体、各種スポーツ大会開催主催者などに誘致営業を行う
 - (2) 夏季の飯綱・戸隠でのスポーツ合宿、及び冬季のスキー・スケートを中心とした長野市誘致に向け、学生マーケットに対して重点的に誘致営業を行う

観光振興事業

首都圏における長野市及び北信濃エリアへの誘客のため、関係諸機関への徹底した情報収集及び情報交換により、ニーズを把握し、ニーズに合わせて、長野市の自然、歴史、文化などを取り入れ、他の地域と差別化した旅行商品として企画提案して誘客営業を強化する。

重点目標

- 1 教育旅行の誘客
- 2 訪日外国人旅行者の誘客
- 3 篠ノ井・信州新町イヤーキャンペーンにおける首都圏旅行会社等への売り込み強化
- 4 観光広報宣伝の強化

重点事業

- 1 修学旅行及び林間学校が教育効果の高い自然体験学習へシフトしてきている状況を踏まえ、農業体験等の体験学習を軸に教育旅行の商品を企画立案し、首都圏での販売体制を確立し誘客を行う
 - (1) 首都圏(1都3県：東京・埼玉・神奈川・千葉)を当面の誘致対象とする
 - (2) 観光部が検討している、戸隠でのそば打ちや竹細工などの体験学習メニューをプログラム化した企画を教育旅行取扱旅行会社に提案する
 - (3) 文化体験学習の一環として、善光寺宿坊体験を提案する
 - (4) 観光部と連携し、松代での象山地下壕の平和教育、「エコール・ド・まつしる倶楽部」との文化交流を取り入れ提案する
 - (5) スキー体験学習に関して、長野市開発公社と協力し、戸隠・飯綱高原スキー場企画を作成し、提案する
 - (6) 民泊体験は、長野市が進めているグリーンツーリズム推進に向けて旅行会社からの情報収集と長野市からの情報発信を行う
- 2 訪日外国人旅行者の長野市への誘客に向け販売促進及び誘致営業の強化
 - (1) 長野市内の宿泊施設、食事施設、入場箇所、バス会社と協力し、企画提案を作成・発信し、誘客する
 - (2) 教育旅行誘客に向けて、台湾・中国・シンガポール等を対象国として、長野市教育委員会と学校交流受け入れで連携を図り、首都圏のランドオペレーターに情報発信する
 - (3) スキー・スノーボード及び冬季旅行誘客に向けて、台湾・中国・韓国・香港・シンガポール等を対象国として、長野市開発公社と協力し、企画提案する
 - (4) JNTO、日本観光協会、交流協会等への情報収集から招聘事業を調査し、長野県と協力しながら、長野市へ誘致する
- 3 篠ノ井・信州新町イヤーキャンペーンによる誘客とビューロー独自開発の着地型旅行商品による誘客を集中的に実施
 - (1) キャンペーンを通して具体的旅行商品の提示による長野市及び北信濃地域への観光誘客の推進を図る
 - (2) 着地型旅行商品「旬旅ながの」の首都圏での露出及び販売強化のため、各旅行会社と

連携し首都圏発地の旅行商品の開発と送客を行う（個人・団体）

4 首都圏における観光宣伝を強化し、誘客に結び付ける

- (1) マスメディアや多様な広告媒体を通して、長野市・北信濃地域の観光宣伝を強化し、誘客営業を実施する
- (2) 観光部と連携して新聞社・出版社などの記者や編集者を長野市へ招聘し、観光情報、地域の魅力の発掘などの特集記事の掲載を依頼し、誘客を行う

他の事業

1 首都圏における旅行会社等への販売促進事業の推進

- (1) 旅行企画担当者（含むバス会社） 営業担当者への販売促進強化
- (2) 首都圏での旅行商品造成商談会などに積極的に参加し、旅行会社企画担当者に企画提案を行う

2 長野市東京事務所との連携事業の推進

- (1) 長野市東京事務所と連携し長野市への観光誘客の推進強化
・都内での観光・物産イベントの開催
- (2) 「長野県人会連合会」への誘客促進強化
- (3) マスメディアや広告媒体への共同営業
- (4) 「ふるさと NAGANO 応援団」との協働による誘致促進

コンベンション開催準備金貸付事業

コンベンション開催準備金 貸付事業（特別会計）	予 算 額	前年度予算額	比較増減
	11,000 千円	11,000 千円	0 千円

長野市内で開催されるコンベンションに対し、主催者支援のためコンベンション開催準備金の貸し付けを行い、コンベンション主催者の便宜を図ることをもってコンベンション誘致を促進するもの。

具体的には主催者への貸付金を当ビュローが金融機関から借り入れを行い、利子及び手続き費用を当ビュローが負担する中で主催者へ無利子で貸し付けを行うもの。